

平成29年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



平成29年12月

海老名市立有馬中学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は
こちらから



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 「漢字の読み」はおおむねできています。
- 文章表現において、読者がその情景をより感じる表現方法や、効果的な言葉の使い方について理解しています。
- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することができます。

《努力を要する所》

- 「漢字の書き」に課題があります。
- 書写における楷書と行書の特徴を理解することに課題があります。
- 古典の種類についての理解に課題があります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 選択問題はおおむねできています。
- 文章を読んで、筆者が伝えたい意味を理解することができます。
- さまざまな説明資料の内容を理解し、それぞれの使い方について工夫することができます。

《努力を要する所》

- 文章を書いて答える問題に課題があります。
- 感じたことや伝えたい内容を適切に盛り込んで、文章表現することに課題があります。
- 質問の意図を明確にして、文章表現することに課題があります。

これまでの取組から

- 「話すこと・聞くこと」の力がついてきています。授業で「グループワーク」を行うことにより、より分かりやすく伝えるためには、どのような表現が適切かを選択する力がついてきています。
- 定期的な漢字の学習により、「読み」の力が向上しています。

今後の具体的な取組について

- 漢字小テストを定期的に行い、反復することで「漢字の読み・書き」の定着を目指します。
- 「グループワーク」を授業に取り入れ、相手に伝えたい内容を、分かりやすく表現する力をさらに高めます。



数学に関する調査結果

数 学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 加減乗除の基本的な計算問題がよくできています。
- 文字式の基本的な計算問題ができています。
- 一元一次方程式を解くことができています。

《努力を要する所》

- 数量の関係など、具体的な場面で、一次方程式に表わすことに課題があります。
- 図形問題で角度や証明する問題に課題があります。
- 資料から答えを導き出すことに課題があります。

数 学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 図形での点が移動することによる角度の変化について、正しい記述を選ぶことができています。
- 作りたい万華鏡の形を作成するために、正しい模様を選ぶことができています。

《努力を要する所》

- 図形問題で、数学的表現を用いてその関係性を表現することに課題があります。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に表現することに課題があります。

これまでの取組から

- 定期的に基本問題を行うことにより、整数の計算問題や文字式の計算問題の正答率が上がってきています。

今後の具体的な取組について

- 1年次で実施している「少人数制授業」を継続して展開し、基礎的な知識・理解の向上を図っていきます。
- 手作り教材や小テストを実施し、学習意欲につながる「わかる」「できる」授業実践を行います。



生徒質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 「学校で、好きな授業がありますか」の問いに、「そう思う」と回答した生徒が全国平均よりもかなり上回っています。
- 「数学の勉強は好きですか」の問いに、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒が全国平均を上回っています。

《課題と思われる所》

- 「家で、学校の宿題をしていますか」では、「している」と回答した生徒が全国平均をかなり下回っています。

生活について

《よかった所》

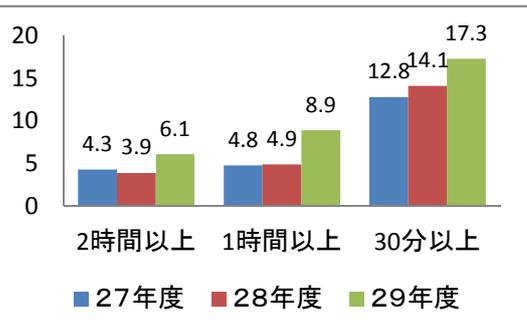
- 「人の役に立つ人間になりたいですか」の問いに、「当てはまる」と回答した生徒が全国平均よりもかなり上回っています。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒が92%と、全国平均よりも上回っています。

《課題と思われる所》

- 「携帯電話・スマホ・インターネット」を1日に使う時間が「4時間以上」「3時間以上」と回答した生徒が全国平均よりもかなり上回っています。

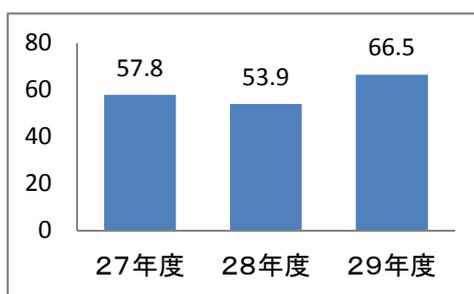
これまでの取組から

「1日に読書をどのくらいしますか」
読書をする生徒が、毎年増加しています。



「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」
「当てはまる」の割合(%)

授業での話し合い活動により、意見を発表し合う力が高まっています。



今後の具体的な取組について

- 「家で計画を立てて勉強していますか」で、「していない」と回答する生徒が多いことが課題ですが、「している」と回答する生徒が、毎年増加しています。
小中一貫教育9年間の学習のあり方で、家庭学習の定着を目指して取り組んでいきます。



ご家庭で取り組んでいただきたいこと

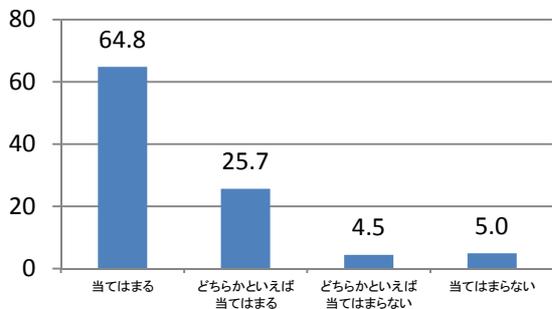
平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。

毎年、全国平均よりもかなり高い有馬中学校のよさです。さらなる向上を目指して取り組んでいきたい項目です。

1 協力して、やり遂げる力の育成。

意欲的に参加し、仲間と協力してやり遂げる楽しさを体験できる活動づくりに取り組みます。

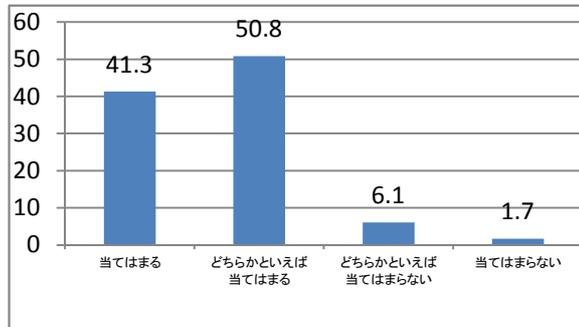
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。



2 人に優しい「温かい」学校づくり。

仲間が困っていると声をかけ、励まし合って活動をしています。大人の温かい支援で学校づくりに取り組みます。

人が困っているときは、進んで助けていますか。

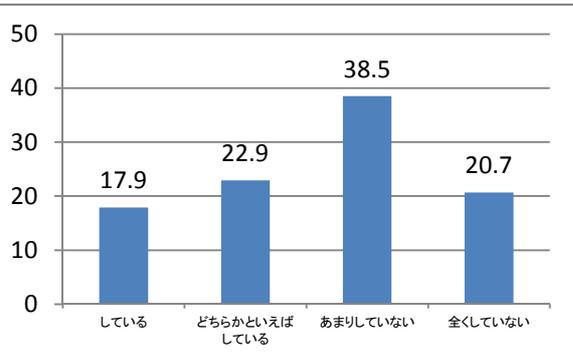


毎年、全国平均よりも低い有馬中学校の課題です。今後、改善を目指して取り組んでいきたい項目です。

3 家庭学習に取り組みましょう。

下記の「している」は全国平均と同じですが、「していない」と回答した生徒がかなり多いです。家庭学習の習慣づくりをしましょう。

家で、計画を立てて勉強をしていますか



4 携帯電話やスマホでの通話やインターネットの使用時間を減らしましょう。

使用時刻や時間を決めましょう

平日は1日どれくらいの時間、携帯電話やスマホでメールやインターネットをしますか。(ゲームの時間を除く)

